

NICE Network – Nagasaki Interaction & Cooperation in Education –

遠隔教育の取組及び成果・課題

令和7年度研究テーマ：遠隔授業の複数科目実施等による各校のカリキュラムの充実

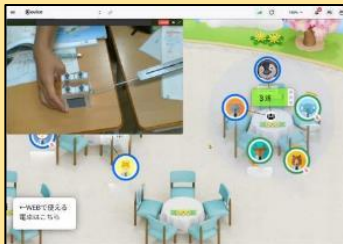
「教科に応じた最適な遠隔授業のスタイル」「生徒や学校の学習ニーズを反映させた遠隔授業のカリキュラムの工夫」

◆センター型集中配信による遠隔授業

●5教科（理科、数学、英語、情報、商業）13科目を10校に配信



【2Dメタバースの活用】



【理科における実験】



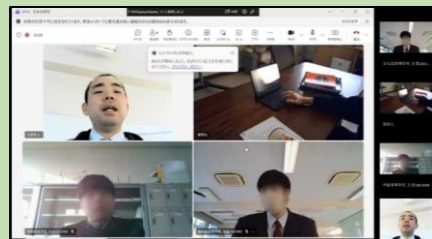
【受信校支援員との連携】



学校名	受信教科・科目
宇久高校	情報（情報Ⅰ）
豊玉高校	数学（数学Ⅱ、数学B）、英語（論理表現Ⅰ）、情報（情報Ⅰ）
上対馬高校	情報（情報Ⅰ）・商業（情報処理）
五島南高校	情報（情報Ⅰ）
大崎高校	理科（物理基礎、物理、生物基礎）
小浜高校	理科（物理）
北松西高校	理科（化学）・英語（論理表現Ⅱ、英語コミュニケーションⅢ）・情報（情報Ⅰ）
中五島高校	英語（論理表現Ⅱ）・情報（情報Ⅰ）・商業（ビジネス基礎）
平戸高校	理科（生物基礎）・情報（情報Ⅰ）・商業（簿記）
西彼杵高校	情報（情報Ⅰ）

◆学校間連携の相互配信による遠隔授業

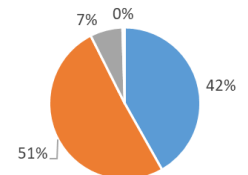
●離島3校間による地理歴史科授業の相互配信体制の継続
令和7年度は地理探究、日本史探究の単位認定を伴う相互配信



成果指標

【成果指標】「この授業は、今後の学びを充実させたり、進路を考えたりするために役立つと思いませんか。」

そう思う	42%
どちらかといえばそう思う	51%
どちらかといえばそう思わない	7%
そう思わない	0%



【生徒アンケートの自由記述より】

- ・「チャットを利用して先生に質問ができる」
- ・「（2Dメタバース上では）個別の質問がしやすい」等

NICE Network – Nagasaki Interaction & Cooperation in Education –

通信教育の取組及び成果・課題

令和7年度研究テーマ：クラウドサービス等を活用した通信教育※による学習の充実

「Microsoft365の各種機能を活用した、端末を活用した自宅での学習の充実」「EdTechサービスの効果的な活用等による学習および支援体制の構築」

※本県では通信教育に関する研究を「通信教育に資するオンデマンド教材を活用した教育についての研究」と位置付けて実施した

◆「多様な学びの配信コンテンツ」

- ・配信機材を活用した、教育課程外のオンラインコンテンツの配信
- ・2Dメタバースサービスを活用したコンテンツの配信と検証

分野	実施コンテンツ	対象	参加者数	実施時期
進学・就職支援	オンライン公務員試験対策講座 講師：公務員専門学校講師	主に3年	23校70名	7月
		1、2年	19校55名	12月
	オンライン 志望理由書の書き方講座 講師：進学予備校講師	生徒、教員	21校108名	3月
技能習得支援	オンライン韓国語講座 講師：県内高校講師 ※2Dメタバースを使用	1、2年	4校5名	夏季休業期間
キャリア形成 (進路研究・探究学習を含む)	オンライン県内企業ガイダンス 参加企業：県内企業3社	1、2年	離島3校 13名	12月
	オンラインインタビューシップ 講師：県内外に在住の実業家等5名 ※2Dメタバースを使用	1年	離島3校 23名	1月
	オンラインキャリア講演会① 講師：本県出身の気象予報士 ※対面の講演をオンライン配信	生徒、教員	10校23名 (オンライン分)	12月
	オンラインキャリア講演会② 講師：本県出身の研究者	生徒、教員	22校104名	1月
	オンラインキャリア講演会③ 講師：本県出身の建築家	生徒、教員	6校50名	3月
高校との連携	長崎科学プロジェクト「第1回課題研究指導法研修会」（長崎西高校主催）	教員	13校26名	7月

◆動画編集の手順書の作成

【一次編集】（後日視聴動画の形式）

1. Teams録画の映像に含まれる個人情報の除去
2. 著作権侵害のおそれがある部分をカット
3. その他、後日視聴動画として不要な情報をカット
4. 音量の大小が極端な場合の補正

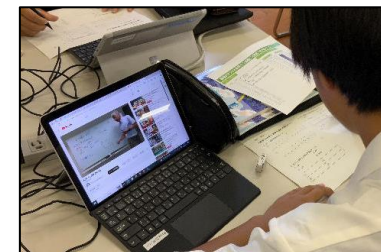
【二次編集】（広く再配布可能な形式）

1. 講師映像部分のみ部分拡大
2. 個人情報等の除去を再確認しながらテロップの挿入
3. 授業内容ごとに分割してファイル出力
4. 総ビットレートの調整処理等後再出力

成果と課題

【成果】

- ・遠隔授業における添削やオンデマンド教材の活用等による、個別最適な学習の支援



配信教員の説明した動画を見ながら学習の様子

【課題】

- ・授業動画のオンデマンド教材としての再利用における著作権やプライバシーへの対応
- ・授業動画を再配布可能な形式にするメリットに対する、編集の人的・時間的負担